

広 報

家畜衛生ますだ

令和5年8月

発行・編集

益田家畜保健衛生所（西部農林水産振興センター益田家畜衛生部）

〒698-0007 益田市昭和町13-1 益田合同庁舎1階

TEL 0856-31-9730 FAX 0856-31-9739

中国3県関係家畜保健衛生所県境防疫連絡会議について

令和5年8月3、4日の2日間、「中国3県(広島・山口・島根)関係家畜保健衛生所県境防疫連絡会議」を益田家保で開催しました。この会議は、管轄地区が県境で接する6つの家保(広島県西部家保、山口県東部・中部・北部家保、島根県川本・益田家保)で情報交換・共有を行い、**万が一の家畜伝染病発生に備えて連携を強化するために開催**しているものです。令和2年度以降、コロナ禍の影響で中止が続いており4年ぶりの開催となりました。

会議1日目は、各家保から管内の状況説明や業績の報告などがあり、貴重な知見を共有することができました。特に、**広島県で昨年度発生した高病原性鳥インフルエンザの対応**については、山口・島根両県ともに参考になることが多数あり、万が一に備えた準備の大切さを改めて実感したところです。

会議2日目は、益田市の「タケダ猪精肉店」にご協力いただき、**豚熱感染確認区域内におけるジビエ利用施設の衛生対策**についての視察を実施しました。このジビエ利用の取り組みは、中国地方では島根県が他県に先駆けて行っているもので、他県の家保の方々も興味深そうにお話を聞いておられました。

2日間の会議を通して職員同士の親睦も深まり、連携強化という目的を達成することができました。今後とも、各県の家保と協力し家畜伝染病の発生・蔓延防止に努めて参ります。



【会議の様子】



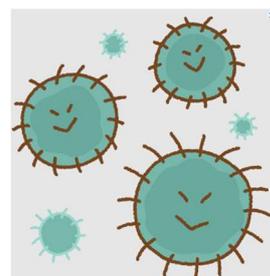
【ジビエ施設の視察】

カビ毒(マイコトキシン)について

カビ毒(マイコトキシン)とは、カビが作る化学物質のうち、人や家畜が摂取すると健康を害する物質のことをいいます。飼料を汚染するカビ毒では、肝臓に悪影響を与える**アフラトキシン**、繁殖障害を引き起こす**ゼアラレノン**、乳量減少や食欲低下を起こす**デオキシニバレノール**等が知られています。飼料を適切に管理して、カビの発生防止を心がけましょう。

●カビ発生予防のポイント

- ・餌を与える前に、しっかりとその餌を眺めてみましょう！
- ・飼料にカビが見られたら、カビがある部分を完全に除去してから給与しましょう！
- ・適切な飼料管理(保管場所、温度、湿度)を心がけましょう！



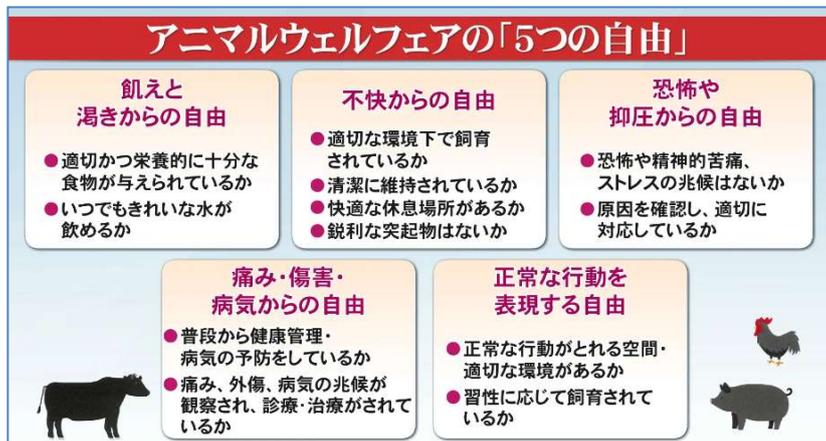
アニマルウェルフェアについて

皆さん『**アニマルウェルフェア**』という言葉を知っていますか？『アニマルウェルフェア』とは「感受性を持つ生き物としての家畜に心を寄り添わせ、誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り少なく、行動要求が満たされた、健康的な暮らしができる飼育方法をめざす畜産のあり方」とされています。

噛み砕いて簡単に言ってしまうと、「**動物をペットにしたり食べたりするのは仕方のないことだけでも、せめてなるべく痛みや苦しみ、不自由さを与えないようにしよう**」という考え方であり、家畜にも寄り添った飼養管理を心がけよう、ということです。

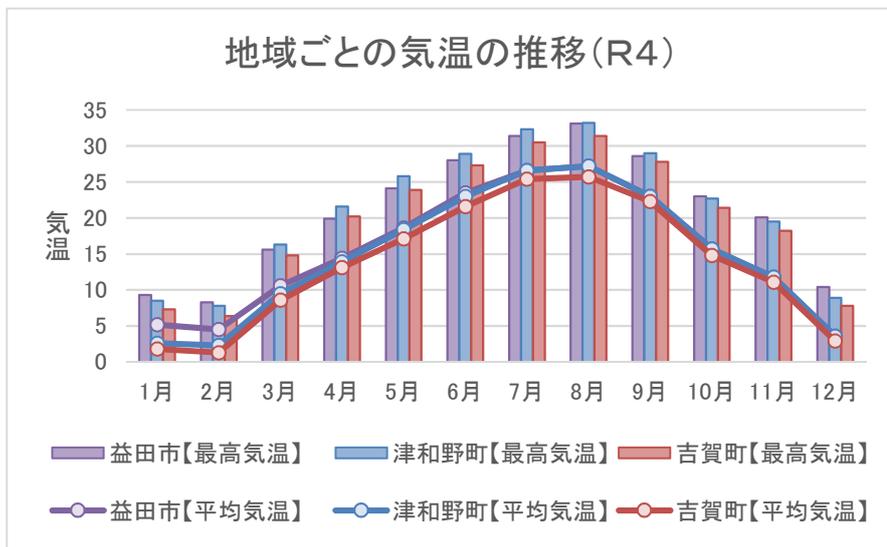
近年ヨーロッパを中心とした多くの国で『アニマルウェルフェア』は普及してきていて当たり前なものとなっています。

農林水産省では、「**5つの自由**」の視点を持つ上で、牧場のアニマルウェルフェアの状況を理解出来ると紹介されています。とても倫理的な視点であり、当たり前と言え、当たりの視点です。人間もこちらの5つの自由がなければ、とても苦しい人生を送ることは容易に想像出来るので、「その視点を家畜にも持とうよ」ということです。皆さんも今一度、『アニマルウェルフェア』について考えてみませんか？



暑熱対策について

牛の負担にならない気温は乳用牛で25℃、肉用牛で30℃が限界とされており、これを超える気温では**暑熱ストレス**により**食欲不振**や**繁殖成績の低下**といった様々な悪影響が現れます。



令和4年は9月中旬まで最高気温が30℃を超える日があり、今年も注意が必要です。

ファンや散水装置、遮熱カーテンの設置といった畜舎の整備や、涼しい時間帯での飼料給与・新鮮な水をいつでも飲めるようにするといった飼養管理の改善により、牛を暑さから守りましょう。